

長野県南佐久郡川上村 地方創生事業「KAWAKAMI Re:BRANDING事業」 「KAWAKAMI 地域 イノベーション アイディア コンテスト 2016」 2016年2月21日(日)に開催決定 募集期間は、2016年1月15日(金)～2016年2月8日(月)

川上村(村長：藤原忠彦、所在地：長野県南佐久郡)は、2016年2月21日(日)に川上村文化センターに於きまして「KAWAKAMI 地域 イノベーション アイディア コンテスト 2016」の開催を決定致しました。

本村では、地方創生関連事業を推進するにあたり、本村へのファンを創り、増やすことを目的に、「KAWAKAMI Re:BRANDING事業」を実施しています。その一環として、川上村産の農産物を活用した新しい特産品のアイディアや、地方で感じる不便さを解消するアイディアを募集するべく「KAWAKAMI 地域 イノベーション アイディア コンテスト 2016」を開催致します。

応募部門として、川上村の農産物などを活用した新しい特産品のアイディア等を募集する「地域特産品事業アイディア部門」と、特に地方部のライフスタイルを向上させる事業のアイディア等を募集する「地域ライフスタイル事業アイディア部門」の2つの部門で募集しており、自分のアイディアによって地域に貢献したい方であれば、誰でも応募が可能です。本コンテストでは、副賞として事業奨励金を総額50万円(最大)を受賞アイディアに抛出致します。

また、コンテスト開催当日には、審査委員であるライフスタイルプロデューサーの村上萌氏や、株式会社ローソン商品本部農業推進部部長の下澤洋氏、スーパーダディ協会の代表で株式会社TBSテレビの情報ワイド・バラエティ番組“王様のブランチ”プロデューサーの高橋一晃氏による、それぞれの講演も予定しております。

皆さまの沢山のご応募、そして沢山のご参加をお待ちしております。

「KAWAKAMI 地域 イノベーション アイディア コンテスト 2016」募集概要

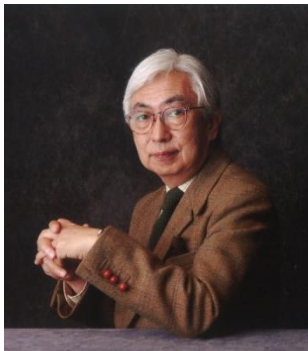
- 主催 : 川上村
- 協賛 : 株式会社ローソン、株式会社八十二銀行、株式会社クラウドワークス、株式会社Relic
- 後援 : 農林水産省、長野県、(一社)シェアリングエコノミー協会、川上村商工会
- 募集期間 : 2016年1月15日(金)～2016年2月8日(月)
- 応募部門 : ①地域特産品事業アイディア部門
川上村の農産物などを活用した新しい特産品のアイディア等
②地域ライフスタイル事業アイディア部門
特に地方部のライフスタイルを向上させる事業のアイディア等
- 参加資格 : 自分のアイディアによって地域に貢献したい方
- 授賞・事業奨励金 : 最優秀賞(副賞：事業奨励金 最大30万円)
地域特産品事業アイディア部門賞(副賞：事業奨励金 最大10万円)
地域ライフスタイル事業アイディア部門賞(副賞：事業奨励金 最大10万円)
- 応募方法 : 「kawakami.idea@vectorinc.co.jp」宛に「Eメール必須記載事項」を満たした内容が記載されたEメールを送付の上、応募してください。
尚、応募は1つの部門に複数のアイディアを応募することも可能です。
- 募集要綱 : 詳細は下記URLよりご確認ください。
http://www.vill.kawakami.nagano.jp/kawakami_idea.html

「KAWAKAMI 地域 イノベーション アイディア コンテスト 2016」最終審査会 開催概要

- 日時 : 2016年2月21日(日) 10時30分～18時15分 ※予定
- 場所 : 川上村文化センター(長野県南佐久郡川上村大深山3 4 8-9)
- 審査員 : 審査員長 水野誠一(ソーシャルプロデューサー)
 審査員 村上 萌(ライフスタイルプロデューサー)
 審査員 下澤 洋(株式会社ローソン 商品本部 農業推進部 部長)
 審査員 及川卓也(株式会社マガジンハウス デジタル事業部部長 兼 “コロカル”編集長)
 審査員 高橋一晃(スーパーダディ協会代表 / 株式会社TBSテレビ“王様のブランチ”プロデューサー)
 審査員 石山安珠(株式会社クラウドワークス 経営企画担当)
 審査員 大島直之(株式会社八十二銀行 小海支店長)
 審査員 藤原忠彦(川上村村長 / 全国町村会会長)
- 当日プログラム :

10:30~12:00	川上村ディスカバープロジェクト 「ライフスタイルプロデューサー村上萌と考える、川上村の良いもの良いところ」 #discoverkawakami 講師:村上萌(ライフスタイルプロデューサー)
12:00~13:30	昼休憩
13:30~15:00	「KAWAKAMI 地域 イノベーション アイディア コンテスト 2016」最終審査会
15:00~15:30	審査結果発表&表彰・審査委員長講評
15:30~15:40	休憩
15:40~16:25	「地方創生と女性の社会参画」 パネルディスカッション:水野誠一・村上萌・下澤洋・及川卓也・高橋一晃・藤原忠彦
16:25~16:35	休憩
16:35~17:20	「家族が微笑むスーパーダディ的思考と妻子にモテるモテジナ講座」 講師:高橋一晃(SDA)、KOJI氏(SDA)
17:20~17:30	休憩
17:30~18:15	「ローソンの農業への取組み」 講師:下澤洋(株式会社ローソン)

【審査委員紹介】 ※敬称略



水野誠一(みずの せいいち)

ソーシャルプロデューサー

株式会社IMA 代表取締役

西武百貨店社長、米国ネットスケープ・コミュニケーションズ社顧問、慶応義塾大学総合政策学部特別招聘教授を経て、1995年参議院選挙に当選。

同年(株)インスティテュート・オブ・マーケティング・アーキテクチュア(略称: IMA)設立。現在は、自治体と企業のブランディングプロデュースを数多く手がける一方で、国内企業の支援や香港ペニンシュラホテルなどの外資系企業の日本進出のコンサルも行っている。

西武百貨店在任中は、LoftやSEEDの業態開発から、ネーミング、CIなどブランディングまでを手がけ、マーケティングとデザインを融合出来る総合プロデューサーとして活躍した。

ほかに、現在は(株)バルス、オリコン(株)などの社外取締役を務め、森ビル(株)特別顧問なども歴任した。

「否常識のススメ」(ライフデザインブックス)等著書多数。

村上萌(むらかみ もえ)

ライフスタイルプロデューサー

NEXTWEEKEND代表

“次の週末に取り入れたい”をコンセプトに今より少し先の理想のライフスタイルを提案。プロデュースチームNEXTWEEKENDを主宰し、週末を楽しくするウェブサイトNEXTWEEKENDの運営を始め、サンドイッチ屋GARTENや週末イベント、その他空間や商品などのプロデュースを手がける。

著書にマガジンハウスより「カスタマイズ・エブリデイ」世界文化社より雑誌「NEXTWEEKEND」ディスカヴァー2 1より「週末野心手帳」





下澤洋（しもざわ ひろし）

株式会社ローソン 商品本部 農業推進部 部長

株式会社サカタのタネ（種苗業）に13年間勤務し、種苗の新品種導入に関する産地営業・指導を担当。

その後、丸秋青果株式会社（横浜中央卸売市場）に10年間勤務し、青果物流通・加工業の最前線にて営業を行う。

株式会社ローソンに平成25年1月入社。生鮮CVS推進部及び農業推進部にてSMD（シニアマーチャントデザイナー）として産地・商品開発を行い、現在は農業推進部部長としてローソンファームの開発・推進を担当。



及川卓也（おいかわ たくや）

株式会社マガジンハウス デジタル事業部 部長 兼「コロカル」編集長

2006年アンアン編集長を経て、2010年よりデジタル事業部部長。2012年日本の地域の魅力発信をテーマにしたウェブマガジン「コロカル」を立ち上げ。現在「コロカル」編集長兼務。

書籍プロデューサーとして、21_21 DESIHN SIGHT「colocal books 東北のデマヒマ」。プロジェクトとして、農林水産省事業にてガイドブック「和食」、食による地域活性ガイド「日本食文化ナビ」NOTE及び「日本食文化ナビ」BOOK制作。林野庁事業にて、コロカル「Life with Wood 木のある暮らし」制作。国産材普及拡大のための映像「これからも木とともにある生活を」制作。内藤礼映像作品「地上はどんなところだったか」プロデューサー。



高橋一晃（たかはし いちろう）

スーパーダディ協会 代表 / 株式会社TBSテレビ「王様のブランチ」プロデューサー

1991年早稲田大学卒業後、株式会社東京放送入社。経理、営業、バラエティ番組、情報番組と様々な部署を歴任。現在、土曜放送の「王様のブランチ」のプロデューサーを務める。2009年4月に第一子誕生。



石山 安珠（いしやま あんじゅ）

株式会社クラウドワークス 経営企画担当

国際基督教大学(ICU)卒業後、株式会社リクルート入社。人材領域にて大手企業の採用マーケティング・ブランディングを主に法人営業として3年間勤務した後、クラウドソーシング市場がもたらす社会変化に関心を持ち、株式会社クラウドワークスに参画。

経営企画担当として行政・自治体との連携施策や、ブランディング施策を行う。プライベートでは働く20代のサードプレイス「URAWORKS」の創業代表。同団体で20代の働き方を考えるワークショップなどを務める。公私ともに、次世代の新しい働くインフラの創造に日々邁進中。実家でシェアハウスを経営。



藤原忠彦（ふじはら ただひこ）

川上村村長 / 全国町村会会長

昭和38年川上村役場に入庁後、議事事務局長等を歴任。昭和63年企画課長を最後に川上村役場を退職し、村長に就任。以後連続7期を勤める。現在、全国町村会長、長野県町村会長、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会顧問他多数の公職を務めている。